

平成26年食中毒発生状況概要版

1. 全体

事件数は976件（対前年比4.8%増）、患者数は19,355人（対前年比7.0%減）、死者数は2人（前年1人）となっている。患者数については、食中毒統計を取り始めて過去最低となっている。また、患者数が500人以上の事例は4件（前年2件）であった。

	事件数	患者数	死亡者数
24年	1,100	26,699	11
25年	931	20,802	1
26年	976	19,355	2

2. 病因物質別発生状況（病因物質の判明事例）

(1) 病因物質別事件数は、昨年よりカンピロバクター・ジェジュニ/コリが増え、ノロウイルスを抜いて一番多く発生している。3番目はアニサキスであったが昨年よりは減少している。

- ① カンピロバクター・ジェジュニ/コリ 306件（全体割合31.4%、対前年比34.8%増）
- ② ノロウイルス 293件（全体割合30.0%、対前年比10.7%減）
- ③ アニサキス 79件（全体割合8.1%、対前年比10.2%減）

(2) 病因物質別患者数は、昨年同様ノロウイルスが一番多く全体の50%を超える患者数であったが、昨年より減少した。また、ウエルシュ菌については500人を超える事例があったため、昨年から大幅に増えている。

- ① ノロウイルス 10,506人（全体割合54.3%、対前年比17.1%減）
- ② ウエルシュ菌 2,373人（全体割合12.3%、対前年比177.9%増）
- ③ カンピロバクター・ジェジュニ/コリ 1,893人（全体割合9.8%、対前年比22.1%増）

3. 原因施設別発生状況（原因施設判明事例）

(1) 原因施設別事件数

- ① 飲食店 590件（全体割合60.5%、対前年比7.5%増）
- ② 家庭 79件（全体割合8.1%、対前年比11.3%増）
- ③ 旅館 48件（全体割合4.9%、対前年比2.1%増）

(2) 原因施設別患者数

- ① 飲食店 10,264人（全体割合53.0%、対前年比6.6%減）
- ② 仕出し屋 2,348人（全体割合12.1%、対前年比21.4%減）
- ③ 旅館 2,308人（全体割合11.9%、対前年比3.2%減）

注）本資料にある食中毒発生状況は、食品を起因とする中毒症状を発症し、食品衛生法第58条に基づき、都道府県知事等が調査を行い食中毒事件であると確認された事例について、厚生労働大臣に報告のあったものを取りまとめたものである。